

北中城村



みんなで会議 みんなの議会

118号
令和8年6月定例議会

特集

・分村80年の歩み
・中城村・北中城村ちよーでー村協定

シリーズ
戦の記憶

世界遺産 中城城跡

目次

- ・特集
分村80年の歩み
中城村・北中城村ちよーでー村協定
..... 2～3P
- ・令和8年度補正予算 4P
- ・陳情案件、所轄事務調査 5P
- ・一般質問 7～15P
- ・シリーズ 戦の記憶
編集後記 16P

一般質問者9名

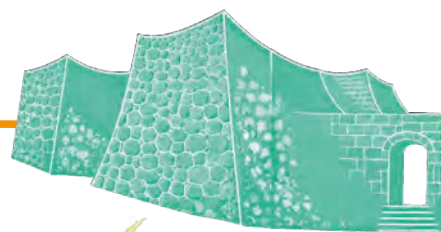
本会議質疑
の模様は
こちらから



北中城村議会 第20期最終号

北中城村分村80年の歩み

あの日から始まった



- 1945年 (6月23日) 沖縄戦終結
- 1946年 (5月20日) 沖縄中央政府指令第2号をもって中城村から分村し北中城村が誕生**
(5月21日) 初代村長に与嶺永喜氏が任命
役場を字仲順大田病院内に村行政が置かれ施行される
- 1947年 (4月10日) 北中城村体育協会結成
- 1948年 (2月1日) 戦後初の村長公選で第2代村長に比嘉秀盛氏当選
(2月8日) 第1期議会議員選挙21名当選
- 1958年 (10月15日) 広報村民の友第1号発刊
- 1968年 (2月2日) 小中学校完全給食始まる
- 1972年 (5月15日) 祖国復帰**
- 1973年 (5月1日) 保育所開設
- 1975年 (4月10日) 北中城幼稚園開園
- 1976年 (6月1日) 中城・北中城消防組合スタート
- 1979年 (3月9日) 中城村北中城村清掃施設完成
- 1980年 (5月20日) 村章村歌制定
- 1983年 (3月12日) 中央公民館落成
- 1984年 (11月17日) 第1回北中城まつり開催
- 1989年 (4月5日) 村立島袋小学校開校式
(8月24日) 岩手県葛巻町姉妹町村
盟約調印式
- 1994年 (6月26日) 村文化協会設立

飛龍翔天



中城遊園地(中城城跡内)



1971年新築当初の北中城村役場



1950年代後半の石平交差点
右手側リージョンクラブ



日本初のファストフード店
A&W屋宜原店



1970年北中城村大城貸馬
(現中北消防署前)



葛巻町 鈴木重男 町長

末永き友好を

北中城村の村制80周年を心よりお祝い申し上げます。

現在の村の礎を築かれた先人のご労苦と、その志を受け継ぎ、村民の幸福のために日々ご尽力されている皆様に深く敬意を表します。

北中城村のますますのご発展、ならびに村民の皆様のご健勝とご多幸、姉妹町村としての友好が末永く続きますことをご祈念申し上げます。



1970年代
日本堂若松ワニ公園
(現中華パンダ付近)



アワセゴルフ場を挟んだ
もくまおう並木の県道22号線



海鮮レストラン魚菜園
(北中城村屋宜原)

平和な田園文化村づくり



喜屋武馨
元北中城村長

国内で唯一地上戦が行われた沖縄には戦後約80年間米軍が駐留している。理不尽だ。我が村は一貫して平和な村・文化の村づくりをしてきた。

戦争はゆっくり忍び寄ってくる。だから平和な田園文化村を目指すことが重要だ。

2000年 (11月27日) 中城城跡世界遺産登録

2003年 (2月23日) 北中城小学校創立100周年
記念式典

(3月29日) アーサ拠点産地として県から認定

2008年 (7月1日) あやかりの杜図書館開館

2010年 (7月31日) 米軍基地アワセゴルフ場返還

2013年 (7月) 女性長寿日本一

2015年 (4月25日) イオンモール沖縄ライカムオープン

2016年 (4月1日) 中部徳洲会病院開院

2024年 人口18,000人達成

2026年 (4月16日) 米軍キャンプ瑞慶覧「喜舎場住宅
地区」の一部返還を正式合意

(5月20日) 村制施行80年

※北中城村の歴史の詳細は村ホームページの「歴史年表」でご覧いただけます。

わったーや ちよーでーやんど〜

意味: 私たちはきょうだいだよ

分村から80年 時を超えて交流を深化させる

中城村北中城村両村長副村長、そして中城村北中城村両議会議員、関係者との全体写真

中城村・北中城村ちよーでー村協定

終戦後の米軍基地による土地の接収で、村が南北に分断され行政運営に支障をきたしたために1946年5月に中城村の北部12行政区が分離する形で北中城村が誕生した。

行政区は二つに分かれたが、これまで両村で消防業務を担う中城北中城消防組合やごみ処理業務を担う中城村北中城村清掃事務組合、そして中城城跡共同管理協議会を共同で運営してきた。

また、毎年12月の冬至の日には中城城跡で「わかいだを見る集い」など共に取組んできた。

そして、分村から80年目の5月20日に中城城跡一の郭にて両村長副村長並びに両村議会議員・関係者が参加する中で、両村のさらなる交流を深化させるために「ちよーでー村協定式」が行われた。

和衷共済



和衷共同



比嘉麻乃 中城村長

比嘉孝則 北中城村長

皆で取組み今がある



新垣邦男
前北中城村長

2004年に村長に当選し、4期16年北中城村長を務めた中で就任早々に中城村との合併問題への対応や行政改革の推進、また、アワセゴルフ場跡地開発において大変な労力を費やしたが、職員含めて多くの関係者のご協力で様々な取組みを進めることができた。これからも、村民と共に議会と行政が連携して村政が発展するよう心から祈念しております。

父の思いが息づいている



大城律也
北中城村議

私の父、大城永昌は第8代北中城村長として3期12年村政運営を担っていた。在任期間中に中城村との清掃事務組合や消防事務組合などをスタートさせ、常々、「両村はちよーでー村で手と手を取り合って取り組むことが重要だ」と言っていた。特に思い出深いのは、村長車があるが、住民とのコミュニケーションにもなるという、役場へよく歩いて行っていた。

令和8年 第4回 6月定例議会

6月定例議会は、6月5日から15日までの11日間の会期で開かれた。提出議案11件で、条例の一部改正3件、補正予算5件、報告3件を審議した。審議の結果、全議案全会一致で可決された。また、9日と10日は一般質問が行われ9名の議員が登壇し行政を質した。第20期の議員では、今回が最後の定例議会となった。

令和8年度一般会計補正予算〔第2号〕3,318万円を追加

令和8年度一般会計補正予算〔第3号〕52万円を追加

歳入歳出予算総額98億8,700万円

6月定例議会で可決された主な補正予算

**11議案
全会一致で
可決**



211万円

村民劇「比嘉太郎物語」補助金戻入金
(収支決算により余剰金分の戻し入れ)



250万円

一般コミュニティ助成事業補助金
(喜舎場公民館エアコン設置)



50万5千円

ライカム自治会設立準備委員会補助金



123万円

中核機関コーディネート事業
(成年後見制度の意思決定支援サポーター)

※今回の補正予算は、一般会計、国保会計、上下水道会計共に4月の人事異動に伴う人件費等の補正が大半を占めた。

令和8年 第3回臨時議会

小・中学校の学校給食費が無償化された。

令和8年第3回北中城村議会臨時議会が5月15日に開催され、提出議案8件で、補正予算1件、承認3件、同意4件を審議した。審議の結果、全議案全会一致で可決された。尚、補正予算第1号で2,929万円を追加し、歳入歳出予算総額98億5,329万円となった。また、固定資産評価員1名、固定資産評価審査委員会委員3名が選任された。

熱気

第4回北中城村議会 議会報告会・意見交換会

活気

第4回目となる村民と議会との交流会議「議会報告会・意見交換会」を令和8年6月28日に中央公民館にて開催した。多くの村民が参加して活発な意見交換ができたことに心から感謝申し上げます。また、この会にあたって、事前に募集した質問に対して9名から36問の質問が届き、当日も会場から活発に村政への課題や提案等の意見が出た。

皆様から頂いた意見や提案を議会活性化調査特別委員会にて集約し、引き続き調査・検討をしていきたい。



議会の
説明責任
を問う！



総務厚生常任委員会

県内・村内 所管事務調査報告

危機迫る状況、早期の対応を求む！

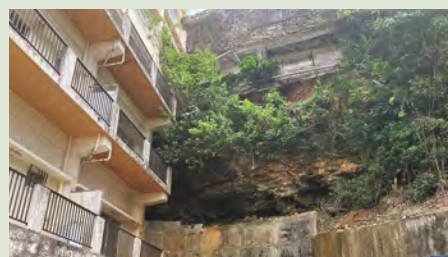
5月初旬の長雨の影響により、5月11日に安谷屋地内（石平自治区）で落石が発生、5月23日には喜舎場地内で土砂崩れが発生したため、5月29日付けで、喜舎場・安谷屋・石平の3自治会長から北中城村議会に陳情書が提出された。陳情書に対する審査を総務厚生常任委員会に付託し所管事務調査を行い、当該地は沖縄県の土砂災害警戒区域等に該当するため、本村議会として沖縄県知事・沖縄県議会議長宛に意見書を提出した。

【所管事務調査】

- 〈調査期日〉令和8年6月8日
- 〈調査場所〉喜舎場地内、安谷屋地内（石平自治区）
- 〈参加議員〉総務厚生常任委員会委員5名
- 〈調査項目〉落石、土砂災害の現状確認と今後の対応



喜舎場地内の土砂災害現場



安谷屋地内（石平自治区）の落石現場

村政を問う!

6月定例議会一般質問者

13名中、9名が登壇しました

●議場での傍聴やインターネットLIVE中継や録画も配信中 

2 **比嘉 悟**
議員

仲順在住



- ①役場窓口業務の受付時間短縮について
- ②各種検定料補助金について
- ③中学校スクールバスについて
- ④村の時報について



詳細は
動画からチェック!

P8

- ①国の給食費無償化に係る今後の村の取組み
- ②新型コロナワクチン政策とワクチン後遺症への対応について
- ③デジタル教科書と生成AIが子どもに与える影響について



詳細は
動画からチェック!

P7

1 **喜屋武 功**
議員

島袋在住



4 **喜屋武 すま子**
議員

島袋在住



- ①手話言語条例の制定について
- ②一人暮らし老人の友愛訪問活動について



詳細は
動画からチェック!

P10

- ①自治体・自治会・大学の連携によるまちづくり
- ②教育と文化の継承発展について
- ③域学連携で子どもたちの育成について
- ④行財政の確立強化の取組みについて
- ⑤東海岸地域の土地の効率利用について
- ⑥中城城跡の通過点脱却へ



詳細は
動画からチェック!

P9

3 **大城 律也**
議員

熱田在住



6 **川上 龍太**
議員

大城在住



- ①荻道・大城地区周辺のまちづくり関連事業に関して
- ②本村の不登校に関して
- ③リチウムイオン電池の取り扱い



詳細は
動画からチェック!

P12

- ①ハワイとの交流について
- ②防災無線の設置について
- ③認可保育園運営等について
- ④村内の落書きの件について



詳細は
動画からチェック!

P11

5 **比嘉 義弘**
議員

喜全場在住



8 **比嘉 正志**
議員

喜全場在住



- ①子どもたちの模擬選挙で主権者教育を
- ②学校へ行けない子への対応は
- ③交通弱者の足を確保しよう
- ④ゴミ袋はなくなるのか



詳細は
動画からチェック!

P14

- ①村の財産である動産・不動産の管理について
- ②動物愛護条例制定について
- ③公園整備について



詳細は
動画からチェック!

P13

7 **上間 堅治**
議員

島袋在住



議会配信映像視聴方法

- ①スマートフォンで視聴したい議員の下にあるQRコードを読み込み再生ボタンをタップする



・再生ボタン
タップ

- ①平和教育と子どもの権利尊重



詳細は
動画からチェック!

P15

9 **平安山 和美**
議員

安谷屋在住



1

喜屋武 功
きやん たくみ
議員



詳細は
動画から
チェック!



・大切にしている政策分野
健康、教育、暮らし、経済

・意外に得意なこと
クイズ

用語説明

※公立小学校給食費無償化策とは、高市内閣において決められた給食費無償化策で令和8年4月から実施されている。児童一人あたり月額5,200円程度を支援するもの。

学校給食満足度は努力が必要

■ 教育長 努力していく

問

これまで村長の公約で進められてきた給食費の3/4負担軽減策だが、国、県の給食費無償化策を利用したことで村は1,980万円の負担軽減になる。村長公約である私学への無償化は村民との約束なのでしっかり進めるべきだ。

答

しばらく待っていただきたい。

問

沖縄県の北中城村の給食に対する満足度調査で栄養バランスは60・7%、量については40・6%であった。村として努力が必要だ。

答

努力していく。

問

北中城村の給食の栄養価はどれくらい不足しているか。

答

小学校の国の基準が650キロに対して598キロ。中学校では830キロに対して736キロになっている。



給食の量に不満の声がある

ワクチン後遺症に対する対策は

問

コロナワクチン接種が始まってから丸5年が経ち、日本国民の約8割、4億回以上が接種されたといわれ、一人当たりの追加接種回数は世界で最も高いとも言われているが、その有効性と安全性に対してはしっかりとした調査・検証がなされていないのが現実だ。そこで、ワクチン接種後の健康被害や不安を抱える人は全国的に多くなっている中で、北中城村においての相談システムやワクチン接種後の後遺症に係る救済制度の申請状況は。

答

相談システムについては、ホームページにて掲載し随時役場窓口において対応しており、住民への適切な情報提供と相談対応に努めている。救済制度申請数については、2名で3件の申請となっている。

問

ファイザー社がアメリカの食品医薬品局に提出した有害事象報告書によると、ワクチン接種後の有害事象は1,291種類ある可能性があるとしている。そういう中で、ワクチン接種後の後遺症なのか加齢から来る病気なのかチェックできずに悩まれている方もたくさんいると思う。だからこそ、後遺症に対する先進地事例を基に添うシステムが必要だ。

答

村としては丁寧に説明し、制度にについては国において検討されるべきものといえる。

2

比嘉 悟
議員

仲順在任



詳細は
動画から
チェック!



役場窓口の時間短縮で業務改善や効率化を

■ 村長 年度内に本格的な議論を進めたい

問 役場窓口の時間短縮は、職員の負担軽減、残業削減、コスト削減、業務改善の時間確保といったメリットがあります。県外の導入自治体では、ワークライフバランスを重視する社会人経験者が時短に強い関心を示し、採用試験にも一定の効果があったという。将来の北中城村を支える優秀な人材獲得のためにも早めの対応を望む。

答 副村長を委員長とする委員会を立ち上げ、共通認識を持った上で、年度内に本格的な議論を進めたい。



窓口の時間短縮で業務の効率化を

・大切にしている政策分野

村民の生命・財産を守る防災・防犯分野と子育て環境や高齢者の健康対策分野。

・意外に得意なこと

料理（最近では4時間かけソーキ汁を作った）

用語説明

※各種検定料補助金とは、北中城村の検定受験料補助金は、小学校では、漢字検定料。中学校では、漢字・英語・数学検定料の3分の1以内の額を回数制限なしで補助を行っている。

※各種検定料補助金を全員に

問 経済的な理由で受けられない家庭もあると思われる。教育格差が生じないよう機会やチャンスを与えるのも行政や議会の役目。年1回、全員に全額補助を。

答 補助額を3分の1から2分の1に戻すなど、いろいろな活用方法で進めたい。全員に補助という部分については、少し検討・精査しながら考えていきたい。

通学バス、ライカム地区の生徒も

問 北中城中学校スクールバスは、島袋・比嘉地区の生徒のみ利用可能だが、ライカム地区の生徒も追加を。

答 現在、登下校各2便で運行し、満席の状態であり、追加は厳しい。

問 2便で運行しているのを3便に増便してはどうか。

答 学校が開いていない時間に着き、子ども達の安全面を考え、学校と協議した結果、現在の運行時間になっているため、増便も難しい。

村制80年7時の時報を村歌に

問 今年、村制80年。午前7時の時報で村歌を流してはどうか。南米の村人会では歌詞も見ないで歌えると聞く。日頃から村歌に親しみ、聞いてもらえるチャンス。

答 内部で検討し、適切かどうか配慮しながら考えたい。

3

おおしろ
りや
大城 律也
議員

熱田在住



域学連携で子どもたちの育成を

■ 教育長 キャリア教育の視点からも検討する

詳細は
動画から
チェック!



大切にしている政策分野

(観光産業)世界遺産
中城城跡の観光資源
活用で『利益』の誘導
を図る取り組み。

意外に得意なこと グラウンドゴルフ

用語説明

※キャリア教育とは、単なる職業紹介や進路指導にとどまらず、子どもたちが社会で自立して生きていくための「生きる力」と、自分らしい生き方を築く「キャリア発達」を促す教育活動のこと。

問

教育の振興である。人間育成がその目的で、行政・学校・大学側と親密に連携を保ち、学事の奨励と学童の知性と涵養、品性の陶冶、環境の是正等に重点を置き、親の覚醒を促して教育の完璧を図る必要がある。身近になった琉球大学大学院医学研究科の支援で、教育委員会、各中学校長連携で小学校、中学校の教育環境のさらなる充実を図るための支援要請は。

答

琉球大学大学院医学研究科への支援要請について、最新の医療設備や研究施設を見学する機会や、医療に携わる方の話を聞く機会があれば、子どもたちにとって視野が広がるだけでなく、医学を志すな

教育と文化の 継承発展

問

人間の形成に重要な役割を果たす

ど、学びへの意欲が増すことが期待できる。支援要請については、※キャリア教育の視点からも検討していきたい。

教育と文化を正しく認証して、これを社会化し、多面的な観点から諸施策を強力に遂行して一層の充実に努める必要がある。教育の目的は、一人一人の人格形成と社会の形成者の育成である。小学校、中学校における教育の成果をさらに発展、充実させる支援は。



琉球大学医学部視察

答

子どもたちが義務教育において学び、経験したことを、その後の充実した人生に活かし、つなげていくことが教育者としての願いである。社会の多様な職業や働き方についての理解を深め、自身の目標に向かって自ら努力する姿勢や意欲を育むことを主な目的としてキャリア教育に力を入れている。

中城城跡の通過点 からの脱却

問

文化財は保護するのではなく活用して保全する時代である。観光産業の推進である。中城村・北中城村の連携で、積極的に取り組む必要がある。観光振興

答

中城村・北中城村が連携し、観光振興を通じて地域経済の活性化を図ることは重要な取り組みであると認識している。人材交流の促進は、観光地、地域づくりの両面で欠かせない課題である。

■その他に、自治体・自治会・大学の連携によるまちづくり。行財政の確立強化の取り組みについて。東海岸地域の土地の効率利用について質問した。

4

きん 喜屋武 すま子 議員

島袋在住


 詳細は
動画から
チェック!


手話言語条例の制定を

村長 現時点で予定していない

問 「手話言語条例」

の全国の状況は651自治体が制定している。手話は言語であるという理念でろうあ者と聴者の共生社会づくりが盛り込まれている。ろうあ者等の現状と課題は何か。

方は3人である。ろうあ者の正確な人数やニーズ等は把握していない。緊急時の連絡方法は、スマートフォン等を活用した方法が充実してきた一方で、災害時の支援体制は、大きな課題である。

問 手話通訳者の人数と普及活動を伺う。

答 手話通訳派遣に係る通訳者等の登録人数は、令和8年5月末現在44人。内訳は手話通訳士3人、手話通訳者7人、手話奉仕員34人。普及活動は、ボランティア講座等での手話体験などの実施や手話奉仕員の登

録人数は、令和8年5月末現在44人。内訳は手話通訳士3人、手話通訳者7人、手話奉仕員34人。普及活動は、ボランティア講座等での手話体験などの実施や手話奉仕員の登

問 手話言語条例の制定についての見解を伺う。

答 障害者計画の見直しに合わせてろうあ者のニーズ把握を行い、事業計画を策定していく。村条例の制定は、現時点で予定していない。

一人暮らし友愛訪問活動について

問 村の高齢者数・高齢化率を伺う。

答 令和8年4月末現在65歳以上の高齢者人口は、4,293人。高齢化率は、23.9%。

問 ※老人友愛訪問活動の実績は。

答 令和5年度55世帯、6年度52世帯、7年度52世帯。

問 手話奉仕員の活躍の場を。

答 派遣は積極的に推進できればと考える。

答 聴覚・平衡機能

障害者が手帳を所持されている方は、令和8年5月末現在で76人に対して、村のコミュニケーション支援事業により手話通訳の派遣を利用されている



手話マーク



筆談マーク

・大切にしている政策分野

平和は行動と実践。福祉は子育て・高齢者支援。労働は若者と女性起業家支援をする。

・意外に得意なこと

専正池坊、小笠原流煎茶道教授免許を取得。

用語説明

※老人友愛訪問活動とは、地域のボランティアや民生委員などが、ひとり暮らしの高齢者や障害のある方のお宅を定期的に訪問し、安否確認や話し相手になる見守り活動。高齢者の孤独感の解消や、社会からの孤立を防ぐことを目的としています。

問 和仁屋自治会はしっかりと高齢者事業の課題と展望は。

答 和仁屋地区は特に先駆的に取り組んでいる。また他の地区での見守り活動の体制を強化していく。

5

比嘉 義弘 議員



詳細は
動画から
チェック!



大切にしている政策分野

地域との交流を密にし活性化に力を入れている。地域の組織が活発化し一段と明るい地域になっていることを実感。

意外に得意なこと

カラオケ

用語説明
※ボックスカルバートとは、地中に埋設される箱型の鉄筋コンクリート構造物。

防災無線の点検で地域を回るべき

■ 村長 保守点検業務を年2回実施している



防災無線が聞き取りにくい地域

問 県道81号線バイパスの上の付近（和仁屋）の地域住民から防災無線の放送が聞きづらいとの声があるが、その問い合わせはあるか。

答 議員ご指摘付近の、住民からの問い合わせは承知していない。尚、住民から問い合わせがあった場合、修繕等が必要なものについては適宜行っている。

村制80周年を契機にハワイとの交流を具体的に

問 戦前、分村前の中城村から多くの移民がハワイに移住した。戦後はハワイから物理的・経済的な面からも応援してもらった。その恩返しの意味も含めてハワイの村人会と交流しては如何か。

答 交流の具体的な手法については、現在行っている南米3ヶ国との海外移住者子弟研修事業とのバランスや限られた財源の整合性も考慮し、検討する。

認可保育園とのやり取りは

問 行政担当課と認可保育園との会議等は定期的に行われているのか。

答 村内認可保育施設へ呼びかけをし、認可保育施設長会議を定期的開催している。

問 保護者と保育園との意思疎通は如何か。

答 入園時や必要に応じて個別相談を行い、保護者と相談を行う機会を設けている。

村内の落書きへの対応は

問 村内のバイパスの※ボックスカルバートの落書きについて問う。

答 村管理施設の落書きは景観を損ねるだけでなく、地域住民に深刻な不安を与える。落書きは犯罪であり、放置しておくことさらなる犯罪を招く恐れがある。そのため村では住民参加型のアートプロジェクトを推進し、良好な環境づくりに取り組んでいる。

6

 かわかみ
 川上 龍太
 りょうた
 大城在住
 議員

 詳細は
 動画から
 チェック!


・大切にしている政策分野

地域資源を活かした財政の収入増。その収入で、教育・福祉・防災を強化していきたい。

・意外に得意なこと

将棋、カラオケ

用語説明

※県の2つの事業計画とは、沖縄県の事業として、持続可能な国際観光景観モデル事業（重点管理路線に係る沿道景観全体計画）と中城公園周辺整備計画があり、本村の荻道・大城地区で沖縄県が主となって進めている。

荻道・大城住民の不安を解消せよ

■村長 荻道・大城は重要。国、県、住民と
 共同で進めたい。

問 農を活かした健康・福祉の里づくり事業の進捗状況や周辺の景観への影響について伺う。

答 計画では令和11年度中に完成目標だが、実際は計画の変更があり少し遅れている。また、中城城跡保存管理部会を組織して、周辺の景観への影響について審査していき、村の条例や県の開発行為に関する審議も必要となる為、県の関係部署とも

相談している。

問 歴史まちづくり計画の進捗状況や住民説明会での住民の

意見に対する見解は。

答 今年度、文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣より同

大城から見た中城城跡の景観



大城から見た中城城跡の景観

計画の認定を受け、沖縄県では第1号、村としては全国初の認定となる。重点区域は荻道・大城の2か所で空き家対策もこの事業の一環。また、住民からの意見や課題解決に向けてはワークショップを開催し、住民の生活への影響も一緒に考えていきたい。

問 中城城跡を核とした中城村・北中城村共同のまちづくり計画について、近隣市町村と連携して広域的にコミュニティバスの計画を入れてはどうか。

答 今後は県の計画である中南部都市圏マスタープランに積極的に参加して、村が求める都市計画にしてい

きたい。

問 ※県の2つの事業計画について、県と連携しながら県道146号線の歩道整備の延長や県道のネーミングを「護佐丸道路」等に命名してはどうか。

答 歩道塗装は今年度で大城旧バス停まで塗装する事になっていて、整備延長は県と調整していきたい。ネーミングについては、近々命名できるのではないかと思っている。

本村各学校の 不登校に関して

問 不登校の要因に
 対して寄り添い、学
 校内での居場所や学校

■その他、本村のリチウムイオン電池の取り扱いに関して質問した。

7
上間 堅治
議員
島袋在住



公園遊具設置の計画が必要

■ 村長 計画的な整備を図る

詳細は
動画から
チェック!



・大切にしている政策分野

議員として村のすべての政策に関して積極的に関わることを心掛けている。大切にしている政策ではなく今期特に財政に関しての研究を多く行っている。

・意外に得意なこと

聞き上手

用語説明
※長寿命化計画とは、国土交通省が定める公園長寿命化計画策定指針に基づき、老朽化した遊具やベンチなどの公園施設を、安全かつ計画的に維持・更新するための行政計画。全国の自治体で策定・推進されている。
※過年度支出とは、前年度以前に支払うはずの経費を現在の年度の予算から支払うこと。

公園遊具の充実を

問 公園や広場に遊具の設置が近隣市町村に比べ充実していない。計画が必要ではないか。

答 時代のニーズに合わせた公園整備に向け※長寿命化計画策定の取組に着手し計画的な整備を図る。

問 県、国からの給食費補助により約2,000万円の予算が削減された。その部分を子ども達の為に使うべきではないのか。

答 該当する補助金の検討と全体のバランス、財政的な面も含め検討したい。

村の財産である動産、不動産の管理は

問 公民館の施設管理。LED化について村の対応を伺う。

答 国、県の補助を活用した事業を検討する。



多くの遊具が撤去されたような公園

問 すでにリース契約を行っている公民館。また、村の管理ではない公民館に対しても村がサポートできるのか。

答 契約済み又はこれから契約を行う公民館については協議を行う。村管理ではない公民館は5施設ある。そこも条件等クリアできれば対応する。

問 中学校車の修理に関して父母教師会が支出したと聞いているが。

答 修理について教育委員会には相談はなかった。

問 前年度の修理代を父母教師会が私費で支出しているのか。村は関係ないとの考えか。

答 内容も確認しながら※過年度支出にもなるので検討が必要。

動物愛護条例制定を

問 昨年度沖縄県は動物の愛護及び管理に関する条例が施行さ

れた。本村の条例と比較すると内容に大きく違いがあり昨今の地域猫への対応も本村は遅れていると思われる。動物全体の愛護に視点を当てた条例制定を作る時代になったと思うが見解を伺う。

答 二重規制を避ける観点も含め市町村が内容の重複する条例を制定する必要性は低いと考える。ただし、独自条例を制定している他自治体を確認するとトラブルの解決や未然防止を目的としているものが多い。したがって本村の独自条例の制定については、県条例の運用実態を踏まえ地域猫活動の適正管理ルール明確化等、地域課題と照らし慎重に検討する。


 詳細は
動画から
チェック!


模擬選挙で主権者教育を

教育長 架空の選挙で修正も兼ねて臨むべき

問 子ども達が模擬選挙を行うことにより相手の異なる意見にも理解を示し、自分の考えを論理的に表現する力が養われ判断力で考える力が育まれる。また、立候補者の公約等で地域の身近な問題に取り組むことで自分自身が地域社会の一員であるとの意識を持ち、主権者としての責任感を醸成することが期待される。身近な選挙について親子で話し合うことにより政治への関心が高まり、村民としての主体性が育まれ投票率の上昇も期待

できる。
本村の新たな取り組みとして子ども達による模擬選挙を今回の村議会議員選挙でやってみてはどうか。

答 年度の途中に新たな取り組みをすることは教育課程の部分で少なからず影響が出る。実施するのであれば次年度にしっかりと

・大切にしている政策分野

教育現場の拡充。「まち」づくりは「ひと」づくりから。北中城村の未来永劫発展のために、教育環境の充実で本村の明るい未来を創る。

・意外に得意なこと

家事（食器洗いと洗濯物干し）

用語説明

※教育支援センターとは、自治体が運営する公的な機関。学校に登校ができない児童生徒が学習活動を行うとともに、社会的な自立に向けた各種活動を行う。

と計画を立てながら、また、架空の模擬選挙をやってみて修正も兼ねて臨むべきだと思う。

学校へ行けない子への対応は

問 学校へ行けない子への対応として近隣市町村には※教育支援センターが設置されている。本村の対応は。

答 本村にはこのセンターはありません。もしセンターに通いたい子がいれば県の設置した「てるし」という施設を勧める。

問 今、多くの子ども達が行き場がなく苦しんでいる。市町村の境界線が子ども達

の未来に大きな格差を生じさせている気がしてならない。自己肯定感を上げ自分たちの意見をはっきり述べられるような子に育って欲しい。

答 すべての子ども達が安全安心に学校でしっかりと教育を受けることができる環境を整えることはとても大事なことで考えている。未来ある子ども達のためにこれからも支援を継続していきたいと思っている。

交通弱者の足を確保しよう

問 デマンド交通の事前説明会に参加したときの対策について

では、予約が集中する時間等を記録し車両を増大するかなど検討の余地があるような説明であった。しかし、デマンド交通は輸送人員が最大で4名までしか乗車できない。住民はコミュニケーションバスを続けて欲しいとの意見もある。グスクめぐりと併せて事業は進められないか。

答 巡回バスの実証実験は今月で終わる。巡回バスは今年度、おおよそ3年程度、実証実験を行う。デマンド交通と巡回バスのハイブリット運用については費用面や運転手確保の問題がある。

北中城村議会議員選挙

投票日：令和8年9月13日（日）

投票時間は、午前7時から午後8時まで。
投票日に投票できない方は期日前投票を活用しましょう。
・期日前投票の時間は、午前8時30分～午後8時まで村役場で投票することができます。
・投票当日、用務などが見込まれる方が、期日前投票を行うことができます。



身近な選挙で主権者教育を

9

平
安
山
和
美
議員
安公屋在住



詳細は
動画から
チェック!



大切にしている政策分野

平和行政と人権尊重を柱に、互いに支え合い安心して暮らせる地域づくり

意外に得意なこと

断捨離で心地よい空間をつくること

用語説明

※主権者教育とは、国や社会の問題を自分の問題(自分ごと)として捉え、自ら考え、判断し、行動できる自立した主権者を育成する教育。単なる政治の仕組みの知識習得にとどまらず、社会の構成員として他者と協働しながら課題解決に取り組む態度を養うことを目的としている。

こどもの権利条例の制定を

■ 村長 条例策定に向けて前向きに進める

問

非核宣言に掲げられている「平和憲法を守る」「人権を尊重する」という理念について、現在どのように継承しているのか。

答

平和を守る北中城村民の会と協働して取り組んでいる。平和の礎の名前を読み上げる集いや、原爆と戦争展。教育委員会と連携して、中学生の長崎平和学習。また、平和図書の選定と贈呈を行っている。

問

いじめ、不登校、貧困、ヤングケアラーなど子どもの人権に関わる課題について、どのような支援を行っているのか。

答

学校や地域、福祉課等からの情報共有を行い、支援に繋がっている。

問

子どもたちの声を施策に生かしていくために、意見を聴くだけでなく、子どもたち自身がまちづくりや子ども施策の検討に参加できる機会を持つこと

答

北中城村こども計画は、こどもの権利である「生きる権利」も大切だと考える。今後こども会議や意見交換会などを通して子どもたちが主体的に意見を述べ、その声を施策に反映していくような取り組みを進める考えはあるのか。

答

学校の主人公である子どもたち「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を踏まえ、策定されている。今後検討していく。

問

本村の、こども、若者アンケートより、「いじめのない社会をつくる」「こどものことを決めるときは子どもの意見を聴く」「学力向上だけでなく、経済や政治など将来必要なことを教えてほしい」とある。子どもたちが自ら意見を言えることはとても大切であると考ええる。また、※主権者教育にもつながっていくと思う。学校の児童会や生徒会の中で取り組めると考えるが。

答

こども計画とこどもの権利条例は車の両輪だと思う。今後こどもの権利条例の制定の考えは、条例策定に向けて前向きに進める。

問

が、自分たちの学校は自分たちでつくるんだという意識を持つことが大事である。また、子どもたちの権利を守る大人の姿勢も大事である。先生方に対してはそのような気持ちで、子どもたちの自主性を伸ばしてほしいとお願いをしたいと思う。



役場前に掲げられた非核宣言

シリーズ 戦の記憶 証言2



佐喜眞美術館 館長
佐喜眞 道夫さん(80歳)

島そのものが戦争の標的にされ 逃げる場所を失った。

戦争の影響で家族は熊本県に疎開していたこともあり、終戦の翌年1946年に熊本県で私は生まれた。幼少期は熊本で育ったが、夏休みには実家の北中城村仲順でよく過ごした。当時の思い出がたくさんある。私にとってのふるさは今でも沖縄であり、北中城村の仲順である。

(佐喜眞さんにとって沖縄戦とは)

島そのものが戦争の標的にされたことで、住民は逃げる場所を失った。それが沖縄戦だ。「沖縄は日本のために犠牲になってもらう場所」という考え方が日本政府にはあったと思う。

再び、このような思想の復行を絶対に許してはならないと常に考える。



慰霊の日の日没に合わせ
夕日が差し込む屋上の小窓

沖縄はアジア諸国との深い交流によって創り上げられた文化と国際性を持った琉球王国であった。そういう独自の歴史を持った素晴らしい地域が沖縄戦によって破壊尽くされ、更には日本政府とアメリカ軍政府に貶められたと思う。

確認する場、ものを想う場を つくりたい

(佐喜眞美術館建設に至った経緯は)

大学卒業後1970年代からケーテ・コルヴィッツ、ジオルシュ・ルオー、上野誠の絵のコレクションを始めていた。1984年に画家の丸木依里(まるきいり)、丸木俊(まるきとし)夫妻と出会った。夫妻の願いである「沖縄戦の図」を沖縄に残したいという思いと、沖縄の本来の力をアートの力によって「確認する場」、「ものを想う場」をつくりたいという強い思いが生まれた。それがあって米軍基地に食い込むように佐喜眞美術館を建設した。

(これからの北中城村へ望むこと)

仲順在住の兄、花崎爲継と共に微力ながら北中城村の為に頑張ってきた。

世界が壊れようとしている今、文化を大切にする北中城村の村民性や生きる態度は大変重要なものになると期待する。



美術館のメインである「沖縄戦の図」

感謝を込めて



北中城村は今年、村制施行80年という大きな節目を迎えました。また、北中城村民平和の日が制定され、先人たちが守り育ててきた平和な村づくりの歩みを改めて振り返る機会となりました。

今号は、任期最後の議会だよりとなります。議会広報委員会では、議会の活動や村政の動きを村民の皆さまへ分かりやすくお伝えすることを心掛け、紙面づくりに取り組んでまいりました。

議会活動を通して多くの村民の皆さまと出会い、さまざまな声を聞かせていただきました。その一つひとつの声が議会の原動力となり、より良い村づくりへ向けた議論につながってきたものと感じています。

任期の締めくくりを迎えるにあたり、これまで議会活動にご理解とご協力をいただいた村民の皆さまに、心より感謝申し上げます。

80年の歴史と平和への誓いを未来へつなぎながら、これからも北中城村が笑顔あふれる村であり続けることを願っています。

これまで議会だよりをご愛読いただき、誠にありがとうございました。

広報調査特別委員会

委員 平安山 和美